

平和への扉



ヒトラーと暮らした少年

ジョン・ボイン／著
原田 勝／訳
あすなろ書房



光のうつしえ 広島 ヒロシマ 広島

くつき しょう
朽木 祥／作
講談社



ミスターオレンジ

トゥルース・マティ／著
野坂 悦子／訳
朔北社



核兵器はなくせる

あきら
川崎 哲／著
岩波書店



風がはこんだ物語

ジル・ルイス／著
ジョー・ウィーヴァー／画
さくま ゆみこ／訳
あすなろ書房



ようこそ、難民！ 100万人の難民が やってきたドイツで 起こったこと

今泉 みね子／著
合同出版

カードの登録・貸出について

●はじめて本を借りるとき

利用者カードの登録をしましょう。
中学生以上の方は学生証・健康保険証など、氏名と住所を証明できるものが必要です。

●貸出について

借りられる期間は2週間です。本・雑誌・紙芝居は合わせて10冊、CDは5点、ビデオテープとDVDは合わせて2点まで借りられます。

新宿区立図書館一覧

●中央図書館・こども図書館 大久保 3-1-1 TEL 03-3364-1421	●北新宿図書館 北新宿 3-20-2 TEL 03-3365-4755
●四谷図書館 内藤町 87 TEL 03-3341-0095	●中町図書館 中町 25 TEL 03-3267-3121
●鶴巻図書館 早稲田鶴巻町 521 TEL 03-3208-2431	●角筈図書館 西新宿 4-33-7 TEL 03-5371-0010
●西落合図書館 西落合 4-13-17 TEL 03-3954-4373	●大久保図書館 大久保 2-12-7 TEL 03-3209-3812
●戸山図書館 戸山 2-11-101 TEL 03-3207-1191	●下落合図書館 下落合 1-9-8 TEL 03-3368-6100

Clover2024 令和6(2024)年3月発行 印刷物作成番号 2023-24-5519

〈編集・発行〉新宿区立中央図書館 東京都新宿区大久保 3-1-1
電話 (03) 3364-1421
〈印刷〉株式会社 信 英 堂 電話 (03) 3357-6711

この印刷物は、5,000部印刷しており、その経費として、業者委託による製本経費を含め1部当たり34.1円(税込)がかかっています。ただし、編集時の職員人件費や配送費等は含んでいません。
本誌は、地球環境保全推進のため、再生紙を使用しています。

Clover 2024

新宿区立図書館員が選んだおすすめの本



手で見るぼくの世界は

かしき あかね さね
榎崎 茜／作 酒井 以／装画・挿絵 くもん出版

視覚支援学校に通う中学生の佑は、5歳の時に病気で目が見えなくなり、心を閉ざしている。唯一の友達、生まれつき目の見えない双葉。いつも元気で前向きな彼女だったが、ある事件が原因で学校になくなってしまった。佑は双葉を救うことができるのか。様々な葛藤を抱える2人が新たな経験や挑戦を通して前へ進んでいく物語。

アンナの戦争 キンダートランスポートの少女の物語

ヘレン・ピーターズ／作 尾崎 愛子／訳 偕成社

戦争について学び始めたダニエルは、祖母のアンナに子供時代のことを訊ねる。彼女の口から出てきたのは、驚くべき冒険の物語だった。愛する両親と引き離され、知らない土地で慣れない生活を送りながらも、希望を失わず最善を尽くすアンナ。勇敢な少女はやがて大きな事件に巻き込まれていく。スリリングでドキドキハラハラする物語。



気になる本は図書館のホームページで検索してみよう！

本の予約もできます。

新宿区立図書館

検索

(中高生コーナー) <https://www.library.shinjuku.tokyo.jp/teen/>

(スマートフォンOPAC) <https://www.library.shinjuku.tokyo.jp/WebOpac/spopac/index.do>

(スマートフォンOPAC)





ハーベスト

はなさと 花里 真希／著

講談社

中学 1 年生の朔弥は人と話すのが極端に苦手。家族もそれを心配していた。そんな彼が入部した園芸部には、一匹狼のクラスメイト諒と帰国子女のアズサがいた。個性の強い 2 人に翻弄されながらも、彼は新たな一歩を踏み出す。



ガリバーのむすこ

マイケル・モーパーゴ／作 杉田 七重／訳

小学館

戦乱のアフガニスタンから逃れた少年オマールは、嵐の海で遭難し、流れ着いた小人の国でガリバーの息子として歓迎される。そこはかつてカリバーが流れ着いた島。その島では今も、愚かな戦争が繰り返されていた。

フォグ 霧の色をしたオオカミ

マルタ・パラッツェージ／作 杉本 あり／訳

岩崎書店

舞台は 19 世紀のロンドン。町にやってきたサーカスに忍び込んだ、ストリートチルドレンの少年クレイが目にしたのは、虐待されているオオカミだった。彼はオオカミをフォグと名付け、サーカスから助け出す決意をする。



つる子さんからの奨学金

まはら 三桃／作

偕成社

中学 3 年生のわかばと樹に、曾祖母から奨学金の申し出があった。条件は、今の実力よりひとつ上の高校を目指すこと。最初は不服に思っていたわかばだったが、次第にその挑戦に面白さを感じていった。一方、樹は？



金曜日のあたしたち

濱野 京子／作

静山社

高校受験に失敗し、学校に居場所がない陽葵。ある日、駅前で環境デモを行う高校生たちに出会う。それは入学したかった高校の生徒たちだった。複雑な思いを抱えながらも、陽葵は徐々に環境問題に関心を持ち始める



雨にシュクラン

こまつ あやこ／著

講談社

真歩は憧れだった高校の書道部で充実した日々を過ごしていた。しかし家庭の事情で学校をやめざるを得なくなる。失意の中、とあるきっかけで訪れた家で不思議な文字、アラビア書道に出会い、真歩は強く惹かれていく。

かわらばん屋の娘

森川 成美／作 伊野 孝行／画

くもん出版

1861 年の江戸、13 歳の吟は、亡くなった母の代わりに絵を描き、稼業のかわらばん屋を手伝っている。しかし父が失踪し、5 歳の弟と二人きりになってしまう。そんな中、同い年の侍との出会いが、彼女の運命を変えていった。



バスを降りたら

眞島 めいり／著

PHP 研究所

私立の中等部に通う奈鶴と、その学校の受験に失敗して別の学校に通う律。面識のない 2 人だが、毎朝乗り合わせるバスで何となく相手のことが気になる。やがて互いの存在が、2 人の悩みを乗り越えるきっかけになった。



水はどこからやってくる？ 水を育てる菌と土と森

浜田 久美子／著

講談社

生物のくらしに欠かせない水は、自然の中を循環している。近年、森が水にとってとても重要な役割を果たしていたことや、日本の森が様々な課題を抱えていることがわかってきた。人と水と森の関係を知ることが出来る 1 冊。



葉っぱの地図

ヤロー・タウンゼンド／作 井上 里／訳

小学館

植物の声が聴ける 12 歳の少女オーラは、母を亡くし、村外れの小屋に 1 人で住んでいる。その頃村では謎の病気が流行っていた。オーラは母が遺した手帳を手掛かりに治療薬を探す旅に出る。それは母を知る旅でもあった。